

Pruning Basics

剪定の基礎知識

刈り込みで美しく元気に育てよう！



大木類

幹・枝・葉のある、いわゆる「木」の見た目をしている植物

剪定が必要な枝

幹や太い枝から不自然な方向に伸びた枝

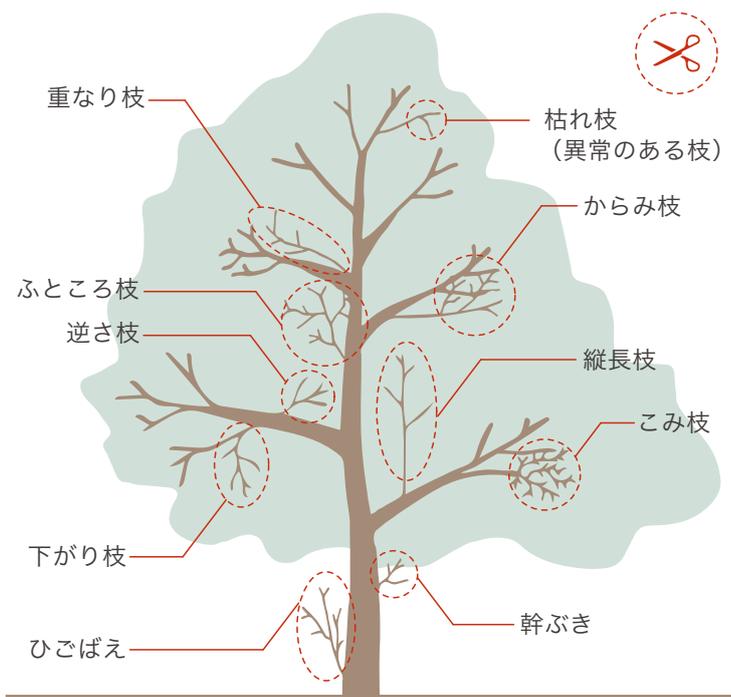
- ・ひこばえ(やこ)
- ・下がり枝(垂れ枝)
- ・幹ぶき(胴ぶき)
- ・逆さ枝
- ・徒長枝(とび枝)
- ・ふところ枝

病気や害虫の影響を受け衰弱又は枯れた枝

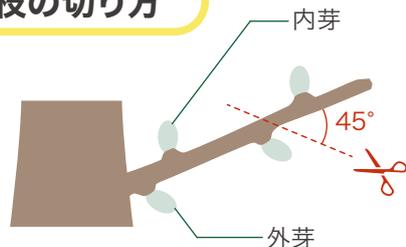
- ・枯れ枝
- ・病変等異常枝

美観を損ね樹形を乱す枝

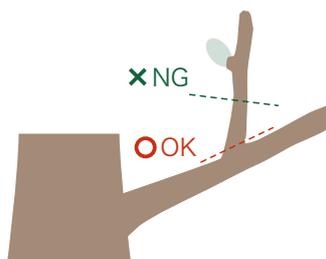
- ・からみ枝
- ・重なり枝



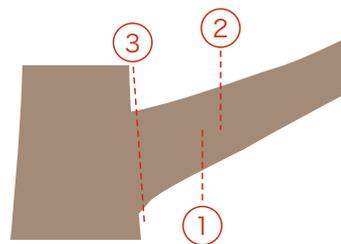
枝の切り方



外芽の先5ミリ程を枝に対して約45度の角度で切ります。



不要な枝は枝の途中で切らず必ず生え際を狙って切ります。



太い枝の剪定は剪定ノコギリで図の順番で切るようにします。

剪定のタイミング

花の咲く木

花が咲き終わった頃を見てなるべく早めに剪定します。

夏前に開花する木は翌年の花芽が出る場合もあるので、夏過ぎの剪定は軽めにします。

常緑樹

梅雨明け頃、伸びすぎた枝の剪定や生垣などの刈り込みで樹形を整えます。

成長を抑えたいときには、10月頃にも剪定します。

落葉樹

冬の休眠中(12~2月)が基本的な樹形を作る剪定にもっとも適した時期です。夏場の剪定は軽めに樹形を整える程度に行います。

Pruning Basics

剪定の基礎知識

刈り込みで美しく元気に育てよう！



草本類

茎・葉で構成される、いわゆる「草」の見た目をしている植物

まずは植物がどちらのタイプか知っておこう

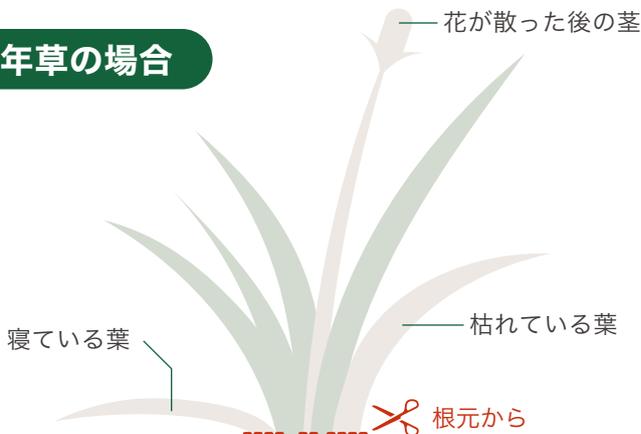
多年草

一年中枯れることなく
常に葉が茂っているタイプの植物

宿根草

冬や乾燥期などの時期に、
地上部が茶色く枯れるタイプの植物

多年草の場合



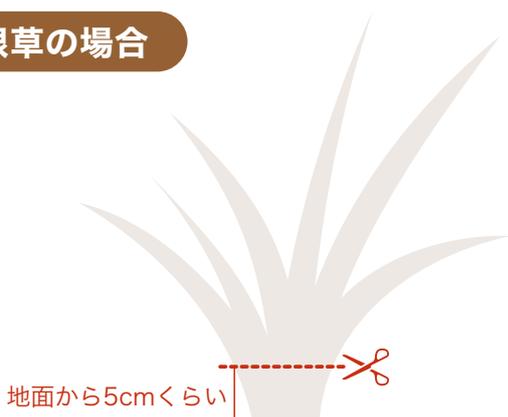
剪定が必要な葉

- ・枯れている葉
- ・地に寝てしまっている葉
- ・花が散った後の茎

Point!

基本は葉の根元から切る

宿根草の場合



剪定が必要な葉

- ・12～2月頃、地上に出ているすべての葉

Point!

地面から5cm程のところを切る